

300年前の地震から崩れ続ける「大谷崩」 ～安倍川への土砂流出を抑える～

おおやさんぶくこう
大谷山腹工

静岡県

- 世界遺産に登録された「三保の松原」の砂浜は、安倍川から運ばれた砂でできています
- 安倍川の源流部に位置する大谷崩は、日本三大崩れ(おおやくずれ富山県とんびやま鳶山崩れ、長野県ひえだやま稗田山崩れ)の1つです
- 大谷崩では、斜面に溜まっている土砂が一気に流出しないように、山腹工を施工しています。

令和3年は、山腹工※を施工している様子をご覧ください。

※山腹工とは斜面に対し、整形・植栽(緑化)や吹付などを行い斜面を安定させる工事です。

大谷崩全景



山腹工の近景



施工箇所イメージ



山腹工の施工状況



見学にあたってのご案内

- ◇ 山間地で天候が変わりやすいことから、急遽、施工現場案内が休止になる場合があります。
- ◇ 見学内容や方法は個別に相談させていただきます。詳しくは下記へお問い合わせください。

【問合せ先】 静岡河川事務所 総務課 電話：054-273-9100
 【アクセス】 新東名高速道路 新静岡ICより車で約50分(約35km)